

4 環境整備

温暖化対策

桐生市の温暖化対策の取り組みについての一部を紹介します。

① 環境都市推進補助金

住宅用蓄電池設備設置補助金

温室効果ガスの排出抑制や省エネルギーの推進による環境負荷の低減を目的として、蓄電池設備設置費用の一部を補助します。

- ・ 補助対象設備 住宅用蓄電池（各種要件あり）
- ・ 補助金額 対象設備の定格容量 1 kWhに1万円を乗じた額
（補助額上限50,000円、1000円未満切り捨て）



小規模企業者省エネルギー設備導入補助金

環境先進都市の実現に向けた取組の一環として、小規模企業者が省エネルギー設備を導入する際に費用の一部を補助します。

- ・ 補助対象者 小規模企業者（各種要件あり）
- ・ 補助対象設備 空調・LED照明・その他設備（各種要件あり）
- ・ 補助金額 補助対象経費（取付工事にかかる費用、税抜き）の3分の1
（補助額上限20万円、1,000円未満切り捨て）



② エコ通勤

個々での車による通勤が主流となっていますが、渋滞問題や地球温暖化など、さまざまな問題の原因となり得ます。

事業所の社会的責任（CSR）の観点からも、また各事業所の効率的な経営の観点からも、より望ましい通勤交通のあり方を模索していくことが望ましいと言えるかもしれません。

「エコ通勤」とは、このような背景のもと、各事業所が主体的により望ましい通勤交通のあり方を考える取り組みです。

桐生市では、毎月第1・第3金曜日をエコ通勤デーとし、市職員にマイカーを使わない通勤を呼びかけ、事業所として公共交通利用推進等マネジメント協議会が実施しているエコ通勤優良事業所認証制度に登録申請し、2011年4月28日に認証登録されました。また、認証登録されてから10年以上取組を継続したため、長期継続事業所として認証されています。



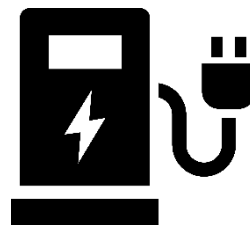
③ 環境に配慮した電力導入

令和2年度より「桐生市環境に配慮した電力調達に係る方針」を策定し、温室効果ガス排出量0%のクリーンな電力を桐生市役所本庁舎へ導入しています。



④ 市有充電設備

電気自動車の利用促進・温室効果ガスの排出抑制、まちなかの周遊客増加を目的として、市役所本庁舎、新里支所、市民文化会館、桐生市観光情報センターにおいて市所有の電気自動車充電設備を設置し稼働を行っています。



⑤ 市有施設の省電力化

桐生市役所本庁舎においては、六角方の形状をとることで日射制御を行いやすい面と熱負荷が少なく、安定した採光を取り入れやすい面を作り、日射による空調負荷を抜本的に低減するとともに建物中央には吹抜け空間を設けることで自然採光により省エネ性能と明るく快適な環境を両立しています。また、LED照明の導入および床吹出空調や井水の利用により効率的な空調が導入されています。



環境配慮型官庁施設（グリーン庁舎）として、ZEB ReadyとCASBEE認証を取得しZEB化を進めています。

※ZEB化：快適な室内環境を保ちながら、断熱性の向上や高効率な省エネ設備、太陽光発電（創エネ）の導入により、年間の一次エネルギー消費量を実質ゼロにする取組みのこと。